

ユーカリ産地化に向けた基盤づくり

東近江農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

近年、ブライダルやフラワーアレンジなど様々な場面でユーカリ(切り枝)が利用されています。この大きく伸びる需要をとり込むべく、東近江地域では令和2年度から、ユーカリ栽培を推進しています(令和4年現在 37戸 150a)。

今後、産地化を目指してユーカリ栽培を定着させ、さらなる拡大に向けて推進していくためには、生育や栽培管理に不明な点が多いユーカリの栽培技術の確立と、産地形成の初期段階から実需者ニーズに対応した生産(商品作り)が重要です。

そこで、ユーカリ栽培の技術実証を行うとともに、市場との情報交換をすすめ、産地化に向けた基盤づくりに取り組みました。

【普及活動の内容】

ユーカリの栽培技術を確立するため、管内(東近江市伊野部町)に実証ほを設置しました。

実証ほでは、慣行より強く主枝剪定や下枝(同化枝)の整枝を行った他、ユーカリらしい丸葉から笹葉への形質変化を防止するため、新たに伸長した強い枝の切り戻しを行いました。

実施した技術内容は、各生産者に技術情報として提供しました。

また、実需者ニーズに対応した出荷時期や品種、規格等を把握するため、花き卸売市場との情報交換を何度も行いました。



写真1 収穫直前の生育状況(実証ほ)

【普及活動の成果】

実証ほでは、形質変化の防止と収量性とのバランスを考慮して樹形を整えるよう技術改善を進めることができました。

また、重点的な出荷時期(1~4月頃、特に成人式や卒業式シーズン)や、生花のサブスクリプションへの対応とそれに適した品種等、市場から新たな提案を受けるなど評価されるようになり、産地化に向けた基盤づくりができました。

◎対象者の意見

結婚式や成人式、卒業式等、人生の節目となる晴れ舞台に生産者として関われ、大変光栄です。多くの人に喜んでもらえるよう、より一層生産に励みます。(生産者Y氏)